

LifeKeeper for Linux v9 サポートマトリクス一覧

最終更新日: 2017/11/6

下記の表は、LifeKeeper for Linux v9環境でご利用いただくことができます。認定済の共有ストレージの一覧です。ハードウェアの構成検討にご利用ください。

【認定済み共有ストレージについて】

LifeKeeperの共有ストレージとして利用するストレージは、種類によって認定が必要なものや不要なものがあります。

SCSI / FC / iSCSI / SAS など、LifeKeeperがSCSI-2/3 Reservationを用いてIOフェンシングを行うことが前提となる、複数ノードで同一のデータを参照する共有ストレージは認定されたものをご利用いただく必要があります。下記の後に記載があるかもご確認ください。

またQuorum/Witness Server KIXを利用してSCSI-2/3 によるReservationを行わないことが利用前提となっているストレージについても、同じく認定が必要です。表でのご確認をお願いいたします。

【認定が不要な構成】

以下の構成においては、ストレージ認定がございません。

- NASストレージ(NAS RecoveryKIXが必要です)
- DataKeeperによるDataReplicationを構成するディスク複製全散(内蔵、外付けを問はず)

【ご利用いただけるハードウェア】

- USBやIEEE1394などで接続する、コンシューマー向けストレージの利用はサポートされません。

Table with columns: ベンダー名 (*1), ストレージモデル名, ハスタタイプ, 接続構成 (*2), サポート可否, 必要なARK(*3) (マルチパス/ARK等), サポートする LKG(バージョン), 注留意項

(*1) EMCストレージのご利用に関して
LifeKeeperはEMCの認定を要していません。EMC社のストレージのサポート状況については下記のマトリクスをご参照ください。
http://www.emc.com/interoperability

(*2) 接続構成の説明
vSphere (RDM) VMware ESXサーバーで共有ディスクをRaw Device Mapping (RDM)で接続した構成 (*5)
Multi Path (DMMP) Device Mapper Multipathを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (EMPD) ETERNUS Multipath Driverを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (HDLM) Hitachi Dynamic Link Managerを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (RDAC) IBM Redundant Disk Array Controllerを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (NECSPS) Storage StoragePath Saviorを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (DMMP) Storage Multipath を使用した共有ディスクのマルチパス構成
Single Path (RDAC) IBM Redundant Disk Array Controller を使用した共有ディスクのシングルパス構成
Single Path 単独なマルチパスドライバを用いないシングルパス接続

(*3) サポートするLifeKeeperのバージョンに関して
このドキュメントは、LifeKeeper for Linux v9を対象としています。
追加のバージョンのサポートマトリクスにつきましては、各バージョンのリリースノートをご確認ください。

(*4) サポートするLifeKeeperのバージョンに関して
このドキュメントは、LifeKeeper for Linux v9を対象としています。
追加のバージョンのサポートマトリクスにつきましては、各バージョンのリリースノートをご確認ください。

(*5) VMware vSphereでの共有ディスクの利用に関して
以下のURLにある、VMware vSphere上で共有ディスクを利用する際の構成ガイドをご確認ください。
http://tk.sios.com/?p=1205
表のOS設定欄に関する記載は管理環境とvSphere環境で共通です。その為、バスタ입 "iSCSI" の接続構成の項目に "vSphere" の記載は行っていません。